

緊急消防援助隊 (Emergency Fire Response Teams)

「All for one」

使命は守ること。そして一つの命を守ること。
将来多くの可能性を持つ尊い「生命」。
消防は「命を守る」という使命に全力で立ち向かいます。
普段は地域住民のために、消防活動続ける部隊。しかし、
いざ、大災害が発生すると全国の部隊が一致団結して、国民の命を守ります。

国民の生命・身体・財産を守ることを任務とする消防本部は、法律に基づき、原則として、市町村単位で運営され、防災の啓蒙活動や災害現場活動など、住民の「安全・安心」を守っていますが、大規模災害や特殊な災害が発生した場合、被災地の消防本部だけでは対応できません。そんな時、被災地の要請を受け全国の消防本部から応援部隊が駆けつけます。これが「緊急消防援助隊」です。

地域を越えた消火・救助活動等を実施します。緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ誕生し、車両、資機材などの整備が進められています。

東日本大震災では、3月11日から6月6日までの88日間で、全国から被災地へ派遣された人員は28,620人、延べ人員にすると104,093人が出動し活動を行い、茨城県にも、神奈川県隊や埼玉県隊等が駆けつけてくれました。

当市消防本部も消火部隊（水槽付消防ポンプ車）1隊、救急部隊（高規格救急車）1隊の2隊が緊急消防援助隊として登録されていて、茨城県隊として、2度にわたり福島県へ出動しました。

また、万が一、当市で大規模災害が発生し、当市の消防力だけでは対処できない時にも、県内の消防本部をはじめ各都道府県の消防本部から緊急消防援助隊が駆けつけることとなります。



▲登録されている消防ポンプ車と
福島県へ出動した救急車



▲福島県消防学校に全国から出動してきた救急車両等